

2023 進路だより 第54号

面接について理解を深めよう

受験はもちろん、今後、就職試験などでは、面接が大切な要因のひとつです。今回は、面接の心構えを学びましょう。

課題 『面接について理解を深めよう』

I 面接に備えて

今回は、面接に関する具体的な学習をします。これは、高等学校受験だけの問題ではありません。社会生活のいろいろな場面で必要になることがあります。

高校入試の面接についての理解を深めまていきしょう。高校入試の面接とはどういうものか、どんな心構えで臨めばよいかわかみとってください。

面接の心構え

「面接」は書類による記述やテストによる点数では計れない「人間性」を判断するために実施されます。したがって、この「面接」を軽んじることはできませんが、逆に必要以上に恐れる必要もありません。

「精一杯努力している」んだ、「最大限、誠意を尽くしている」んだ、ということが相手に伝わるように接すればよいのです。質問に対する答えの内容はもちろん、試験官の先生方への対応の仕方も考えなければなりません。当然、社会的常識やマナーも問われます。特に、礼儀や作法、言葉づかいといったものはその場しのぎの一夜漬けではどうにもなりません。日頃から礼儀作法や言葉づかいに注意を払っていれば、それが自然にあらわれ、良い印象を与えることができます。

みなさんならできると思います。安心してがんばってください。

面接の第一歩は身なりから

身なりはその人の品位を表します。特に初対面の人に与える印象はとても大切です。中学生としての自覚と、清潔感が感じられる身なりを心がけましょう。高校では面接官の先生達だけではなく、たくさんの人が受験する中学生を見えています。自宅を出てから、試験を終えて自宅に戻るまでが入学試験であるという行動をしましょう。

心の準備をしておこう

普段考えていないことを質問されると、その場で答えるのはなかなか難しいことです。「この高校を志願した動機」、「高校生活でやってみたいこと」などは、多くの高校で質問されていますので、質問されてもいように準備をしておきましょう。

面接のポイント

- ① 控室から本番の気持ちで、適度な緊張感を持つ。
- ② 受験校については事前に十分調べておく。(伝統、校風、施設、部活、卒業後の進路など)
- ③ 自分の性格について、相手に伝えられるように前もって考えておく。(長所、短所など)
- ④ 札幌中学校のことを、相手に伝えられるように前もって考えておく。(良い面、特徴など)
- ⑤ 正直に話することを心がける(嘘はすぐばれる)。
- ⑥ 最近、ニュースで話題になっていることについて何か1つ位は考えておく。
- ⑦ 面接が終わっても、帰宅するまで面接の意識をもち続ける。

面接での言葉づかいと答え方

- (1) あせらず、よく考えてから答えること。
- (2) 質問の内容がよく分からなかったり、意味が分からないときは、質問の意味を尋ねたり、問い返したりして、あいまいなまま返答しないこと。
- (3) 答える時は、どんな時でも、「ハイ、〇〇です。」とか「イエ、〇〇ではありません。」のように答えること。
- (4) 分からないことや、知らないことをきかれた時は、「よくわかりません。」とはっきりと答えること。
- (5) 一つの質問に二つ以上の問いが含まれている場合は、そのすべてについて答えること。
- (6) 「〇〇です。」「〇〇ではありません。」「〇〇だと思います。」のように、語尾をはっきりさせること。

面接のスタイル

《個人面接》と《集団面接》

個人面接

一人の受験生に対して、2～3人の先生が面接官となって、質問をする先生、観察をする先生、評価をする先生とに分かれて行われます。日常このような経験をするのはほとんどないので、かなり緊張すると思いますが、普段から、人と接する時の言葉遣いや態度に気を配っている人にとっては何も心配する必要はありません。

面接時間は、学校によって異なりますが、5～10分位の学校が多いようです。ただし、推薦で受験する場合、20分を超える学校もあります。

集団面接

5～6人の受験生が、一つのグループになって受ける面接のことです。先生から、一つの事柄について順番に質問されたり、途中で前の人の答えに対する感想や意見を求められたりすることがあります。

個人面接に比べて、仲間がいるので緊張感は少なくてすみますが、比較されやすいので、かえってしっかりとした態度が求められます。

面接時間は、10～15分程度で、公立高校の一般受検に多いスタイルです。

質問の内容例

《学校選択に関すること》

- ・志願の理由
- ・併願校／どちらを強く希望しているのか。
- ・学校の印象 ・高校を知った理由
- ・両親の意見や考え
- ・普通科(商業科)にした理由
- ・誰にすすめられたか ……など

《中学校での生活に関すること》

- ・部活動の成績 ・勉強時間 ・欠席の日数と理由
- ・委員や係の活動 ・思い出
- ・担任からどんな注意を受けたか
- ・中学校の特色 ・学校名 ・担任名 ・得意科目
- ・不得意科目 ・服装 ・校則 ……など

《高校生活に関すること》

- ・部活動の希望 ・高校卒業後の進路 ・試験の感想
- ・通学時間 ・将来の夢 ・知っている先輩のこと
- ・高校に入ってから一番やってみたいこと
- ……など

《個人に関することがら》

- ・両親の仕事 ・家族構成 ・趣味 ・特技
- ・日常の生活ぶり ・友人について
- ・髪型等について ・家での手伝い ・保護者の人柄
- ・自分の性格 ・長所／短所 ・健康状態
- ・尊敬する人 ・最近読んだ本
- ・新聞記事・最近見たテレビ番組(ニュース等)についての意見や感想 ……など

面接について、資料のように尋ねられた場合、どのように答えればよいのか、考えてみましょう。
別紙プリントに、自分が面接官に答えるつもりで記入してみましょう。

1. (受験番号、) 出身中学校、あなたの名前を教えてください。

2. 家族の構成を教えてください。

3. あなたのお父さんはどんな仕事をされていますか。

4. お母さんは何か仕事をされていますか。

5. あなたの御両親は仕事をどのように考えておられますか。

6. 今日のテストの結果はどうでしたか。

うまくいった場合

うまくいかなかった場合

7. 受験勉強をどのくらいしましたか。

8. 公立(私立)高校はどこを受検しますか。

9. 公立高校とこの学校の両方に合格した場合、どちらに入学しますか。(正直に答えるべし!)

10. なぜこの学校を選びましたか。

11. この学校を選んだことをあなたの御両親は何といっていますか。

12. 高校を卒業したあとの進路をどのように考えていますか。

13. 将来、どんな職業に就きたいと思っていますか。
また、それはなぜですか。

14. あなたの中学校の校長先生のお名前を教えてください。

15. 校長先生は普段どんなことをあなた方にお話されていますか。

16. この学校について知っていることがあれば教えてください。

17. この学校は、市内でも校則の厳しい方なのですが、あなたは校則というものをどのように考えていますか。

18. この学校へはどのような方法で通学しようと思っていますか。また、遅刻の心配はありませんか。

19. 中学校ではどんな活動をしていました。

20. 部活動は何をしていましたか。

21. 部活動を通してあなたはどんなことを学びましたか。

22. 高校に入ってから部活動を続けようと思っていますか。

23. あなたの趣味、特技は何ですか。

24. あなたは今どんなことに興味をもっていますか。

25. 最近のニュースで印象に残っていることはどんなことですか(その理由)。

26. 最近どんなことに感動しましたか(どんなところに)。

27. 中学校での思い出の中で一番印象に残っていることはどんなことですか(その理由)。

28. あなたの長所と短所を教えてください(できるだけ良いところはたくさん)。

29. 得意な教科と不得意な教科を教えてください(その理由)。

30. 担任の先生はどんな先生ですか。

注)「ハイ、〇〇です。」「ハイ、〇〇だと思います。」というふうに答えるようにしましょう。

